

慈恩寺 Times

第45号

【発行】

寒河江市教育委員会 生涯学習課

【発行日】

令和5年7月20日(木)

【問合せ・ご意見等】

寒河江市教育委員会生涯学習課慈恩寺振興係

TEL:0237-86-8231

E-mail :shogaku@city.sagae.yamagata.jp

本山慈恩寺本堂保存修理工事 Part3!

修理見学会開催(令和5年6月)



現在保存修理工事中の国指定重文「本山慈恩寺本堂」。6月10日(土)・11日(日)、市教育委員会主催で茅を取り外した屋根の見学会を行いました。定員の2倍以上の申込があり、抽選で選ばれた約120名の方が参加しました。当日は工事の設計監理を担当する公益財団法人文化財建造物保存技術協会の職員から説明がありました。

①本堂屋根の特徴

- ・本堂の屋根の面積は約844㎡あり、文化財指定を受けている茅葺屋根としては、かなり大きい部類といえます。
- ・軒付屋根の軒先部分の茅葺が通常



長年厚い茅を支えていた向拝(本堂正面の箇所)部分の下地

より厚く、丸太を屋根の先端方向に突き出して先端の軒付を支えています。この丸太に竹の下地を設けて屋根の平葺を行っています。

②本堂屋根の破損状況

- ・茅が全体的に傷んでいるため、雨漏りの危険性が高い状態でした。
- ・これまで行われた部分修理により、本来の厚み以上に茅が葺かれたことが原因で屋根が重くなり、丸太が破損しているところがありました。
- ・経年劣化により屋根の茅を支える部材が隅を中心にながっていったため、屋根の軒通りが乱れていました。



精巧な造りである向拝の装飾

- ・半分近く破損した部材があり、調査の結果、屋根裏にかくれていた小動物が部材をかじったことが原因とわかりました。これはあまり文化財の修理では見ることがない破損です。

参加者からは「釘をあまり使わずに縄を結んでできているとは思わなかった。近くから見学できてよかった」という感想をいただきました。

今後、木部の破損部分を修理し、新しい茅を使って屋根葺作業を行います。

※工事中の現場を見学することはできません。修理現場の安全管理にご理解ください。

祝 慈恩寺テラス

来館者20万人達成!

慈恩寺テラスは、6月8日(木)に来館者20万人を突破し、記念セレモニーを開催しました。20万人目の来館者は中山町在住の佐藤さんご夫婦です。寒河江産紅秀峰、バラの花束などの記念品が贈られました。



イベント情報

秋の慈恩寺

十景詩ウォーキング

室町時代に作られ、慈恩寺の情景を詠んだとされる「慈恩寺十景詩」。これら回るウォーキングイベントを春に続き開催します。詳細は、文化センター・各地区公民館・慈恩寺テラス等に設置しているチラシをご覧ください。

○日時 9月24日(日)

午前9時～正午頃予定

○参加費 2000円(昼食付)

○定員 20名

○問合せ 悠久の里慈恩寺運営委員会

事務局 矢作

☎0800(82)180457

初秋の慈恩寺堂社跡を巡る

国史跡「慈恩寺旧境内」には、多くの堂社(仏堂と神社)跡があります。今回は、現存するお堂や堂社跡などを歩いて巡ります。(小雨決行)

○日時 9月10日(日)午前9時～10時30分

同日は、江戸時代に修験の行場であった白山堂前で柴燈護摩が行われます。

○参加費 無料

○定員 30名

○集合 慈恩寺活性化センター

(受付は午前8時30分)

○ルート 集合場所～仁王坂～弘法大師堂跡～尾山楯跡(山王台公園)～白山堂前

○服装 坂や石段を歩くので、動きやすい服装・靴でお越しください。

○申込方法 8月4日(金)～8月29日(火)までいずれかで申し込みください。

①電子申請、②平日(祝日を除く)午前8時30分～午後5時15分に、文化センター窓口へ直接または電話にて

○問合せ 教育委員会生涯学習課

☎(80)82331



電子申請はこちらの二次元コードから。



本山慈恩寺本堂裏の経蔵跡

慈恩寺テラス サマーキッズフェスティバル

慈恩寺テラスでは、夏休みにサマーキッズフェスティバルを開催します。史跡や地元の仕事について楽しく学べる企画や、ものづくり体験ができます。

○日時 8月5日(土)・6日(日)

両日とも午前10時～午後3時

○内容 ①はたらく車大集合!

②テラス縁日

③本山慈恩寺本堂で使われていた茅を使ったおもちゃ作り

④寺そば・寺カフェ限定メニュー

◎7月22日(土)～8月20日(日)の期間は、「チエリンからの挑戦状」などの企画が盛りだくさんです。詳細は慈恩寺テラスホームページをご確認ください。



竹とんぼなどのおもちゃ作りができます。本堂屋根で使われていた茅を用います。